

## 「地震被害と復旧のデータアーカイブスの構築」

小長井教授は日本の地震工学分野の第一人者で、平成16年新潟県中越地震による被害を、フォッサグナ北縁部から東北日本を中心に存在する活褶曲地帯で起こりえる深刻な地震被害の一つの典型を示したものと捉え、その詳細な実態を科学的な分析を加えてデータベース化するなど、これまでに数多くの研究成果を上げられ、また、最近では国内外で巨大地震が発生するとテレビで解説をするなど活躍の場を広げられています。今回は、地盤変動の解析結果と地震被害の関係や道路、橋梁の復旧など社会基盤施設の対応などについてお話しされます。



写真:能登有料道路横田インター北

講師： 東京大学 教授 小長井 一男 氏

日時： 平成19年8月4日(土)午後4時～午後6時

場所： 徳島大学開放実践センター 1階 第1講義室  
\*会場が変更されました。

主催： 土木学会四国支部・徳島大学環境防災センター・徳島県

対象： 土木技術者・研究者(学生も可能)

参加費： 無料

\* 駐車場は総合科学部臨時駐車場または、徳島大学開放実践センターの駐車場をご利用下さい。

お問い合わせ先:徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部 準教授 三神厚  
電話・FAX088 - 656 - 9193

## 講師略歴

1979.3 東京大学大学院工学系研究科土木工学専攻博士課程修了(交通研究室)

1985 ヒューストン大学(アメリカ)土木工学科研究員

1987.4 東京大学生産技術研究所助教授

1997.4 東京大学生産技術研究所教授

## 受賞

1994.5 土木学会論文賞

2001.6 第6回 CVC シンポジウム特別賞(静止画像賞)

## 研究

2005.7 ~ 2008.3 文部科学省科学技術振興調整費による研究プロジェクト

活褶曲地帯における地震被害データアーカイブスの構築と社会基盤施設の防災対策への活用法の提案



\* 会場が変更されました。

徳島大学開放実践センター 1階 第1講義室



会場: 大学開放実践センター

写真: 中越地震 JR 上越線と南津トンネルの被害

(南から北に向かって撮影)